

渡辺豊重展

手で見るユーモア

視覚障害者はもちろんですが、晴眼者も普段は、現代美術作品に触る機会はずりありません。しかし、このたびギャラリーTOMは、造形作家の渡辺豊重氏の多大なる協力を得て、ほとんどの作品を誰もが手で触って鑑賞できる、「手で見るユーモア」展を開催する運びとなりました。

渡辺豊重氏の彫刻やレリーフ作品の特長は、鮮やかでくっきりとした色彩と曲線が多く用いられている形態、それらが生み出すユーモア感です。その作品は、なんの前提や説明もなく直接的に鑑賞者の感受性に訴えかけてきて、知らず知らずのうちに微笑みや和やかな気持ちを誘発させてくれます。

こんにち、渡辺氏の作品ほど明るくユーモア感を漂わしているものはなかなか見当たりません。

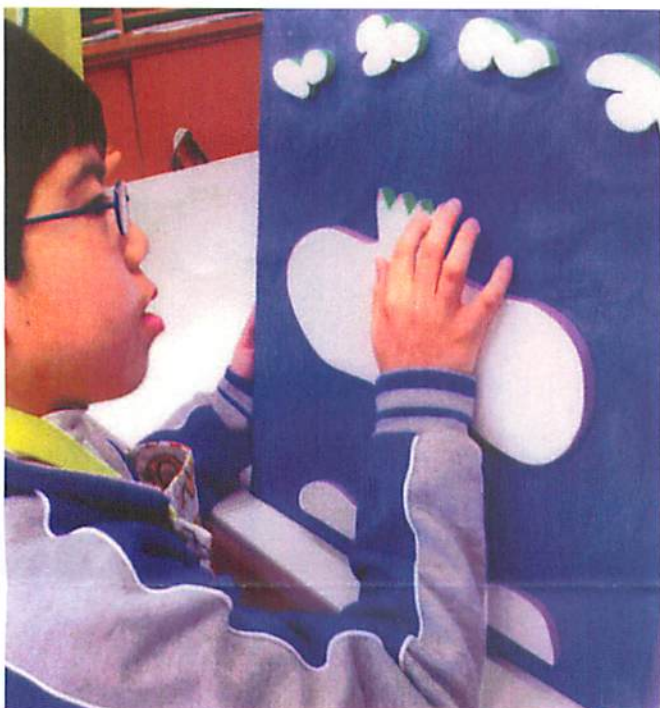
ユーモアを形態化すると、どんな形になるか想像してみてください。

ユーモアを触ると、どんな感触が生まれるのでしょうか。

健常者はこれら形になった「ユーモア」をまず目で、その色彩や形態を鑑賞し、それから改めて手で確かめることになるでしょう。視覚障害者は、普段は触れない現代美術の作品を掌で、指先で、両腕で、体全体で、「ユーモア」の形を鑑賞することでしょう。

形は同じで、素材を変えて作られている作品もあります。手で触ってはじめて、その感触や重さの違いに驚き、今までに体験したことがないような新鮮な触覚をおぼえます。

ギャラリーTOMは、視覚障害者にも晴眼者にも、この展覧会を通して「ユーモア」の触覚体験と、現代美術の触覚による鑑賞の機会を提供いたします。これは、従来の視覚に頼る美術鑑賞への挑戦であり、触覚を改めて考え直す冒険的な試みといえるでしょう。



写真は三点とも岐阜県立岐阜盲学校の生徒たち



2008年3月20日(木・祝) - 5月11日(日)

開館：10:30-18:00 月曜休館（但し5月5日は開館）

入館料：一般600円/小中学生200円/

視覚障害者及び付添者各300円

展示：造形作家・渡辺豊重氏による、レリーフ状の半立体及び立体作品など20点程度

協力：岐阜県立岐阜盲学校

■ギャラリートーク 4月19日(土)、26日(土)各15:00~

ギャラリーTOM 〒150-0046 東京都渋谷区松涛2-11-1
TEL:03-3467-8102 www.gallerytom.co.jp

